



鉄道友の会 選定

2016年 島 秀雄記念優秀著作賞決定

- 単行本部門（2件）
 - ・ 高木 宏之「国鉄蒸気機関車史」ネコ・パブリッシング（2015）
 - ・ 中村 光司「知られざる連合軍専用客車の全貌」JTBパブリッシング（2015）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ 野元 浩「狭小トンネル用 PS23 形パンタグラフ」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2015年12月号掲載）
- 特別部門（2件）
 - ・ 「関西の鉄道」ほかの継続出版に対して（関西鉄道研究会）
 - ・ 「中国鉄道時刻表」の出版に対して（中国鉄道時刻研究会）

鉄道友の会(会長・須田 寛、会員約 3100 名)は、島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会(選考委員長・曾根 悟)による選考のもと、2016年島 秀雄記念優秀著作賞として、上記の単行本部門2件、定期刊行物部門1件、特別部門2件の合計5件を選定することに決定いたしました。

なお、贈呈式は、2016年10月16日(日)を予定しています。

賞の趣旨、選定対象の解説、選定理由などについては、別紙をご覧ください。

2016年 島 秀雄記念優秀著作賞選定対象の解説・選定理由

■ 単行本部門（2件）

- ・高木 宏之「国鉄蒸気機関車史」ネコ・パブリッシング（2015）
- ・中村 光司「知られざる連合軍専用客車の全貌」JTBパブリッシング（2015）

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・野元 浩「狭小トンネル用 PS23 形パンタグラフ」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2015年12月号掲載）

■ 特別部門（2件）

- ・「関西の鉄道」ほかの継続出版に対して（関西鉄道研究会）
- ・「中国鉄道時刻表」の出版に対して（中国鉄道時刻研究会）

■ 単行本部門

高木 宏之「国鉄蒸気機関車史」ネコ・パブリッシング（2015）

本書は、国鉄蒸気機関車のうち、8620形、9600形に始まるいわゆる「制式蒸機」を扱った書物です。従来の蒸気機関車史の研究は、製造所や形式番号、所有者の変遷が中心でしたが、本書では、当時の技術資料などに基づいて、各機関車の設計思想や、設計の経緯、要素技術の具体的内容、国外の同種の機関車との比較が考察され、工学的な視点によって多角的な論考を加え、蒸気機関車のメカニズムの変遷や系譜を体系的にまとめた点に特色があります。蒸気機関車はすでに研究し尽くされた感がありますが、そうした固定概念を打破した著作として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■ 単行本部門

中村 光司「知られざる連合軍専用客車の全貌」JTBパブリッシング（2015）

本書は、終戦直後に日本に進駐した連合軍の鉄道輸送を行うため、連合軍に接收されて専用列車などに用いられた「連合軍専用客車」と呼ばれる一群の客車について、その全貌を明らかにした著作です。執筆にあたっては、「鉄道公報」や車両形式図などの基礎資料のほかに、関係者からの聞き取りや、故・星晃氏の旧蔵資料などの貴重な資料を交えて、これらの情報を集大成しています。連合軍専用客車については、これまでもいくつかの著作物がありましたが、本書は、車種ごとの具体的な解説をはじめとして、その誕生から終焉までの歴史をバランスよく解説し、資料性の高い著作として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■ 定期刊行物部門

野元 浩「狭小トンネル用 PS23 形パンタグラフ」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2015 年 12 月号掲載）

断面の狭いトンネルで用いるためのパンタグラフとして開発された PS23 形について、トンネル断面との関係、電化の進展などの背景を交えて、わかりやすく解説しています。特に、架線高さとパンタグラフ高さの技術基準については、電気機関車の時代には問題視されなかった集電機構が、電車化に際して対策が必要となったこと、低屋根化車両への動きから PS23 形の開発に至った経緯が、図や写真を交えて丁寧に解説され、さらに現在の多くの電車で採用されているシングルアームパンタグラフについても言及されています。PS23 形のメカニズムの特徴をわかりやすく解説した著作として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■ 特別部門

「関西の鉄道」ほかの継続出版に対して（関西鉄道研究会）

雑誌「関西の鉄道」は、1978（昭和 53）年に創刊され、以後、関西地区の話題を中心として 30 年以上にわたって出版が継続されています。また、「関西の鉄道」誌から派生した出版物として、「車両発達史」シリーズが不定期で刊行され、関西の私鉄各社の歴史や現況を紹介してきました。これらの著作物では、関西在住の執筆陣による長年の趣味活動の蓄積が存分に生かされ、また資料性の高い写真や図版を掲載するなど、安易にまとめられた出版物が多い中で、後世に残る記録の手本としても高く評価されます。「関西の鉄道」をはじめとするこれまでの地道な出版活動を評価し、島秀雄記念優秀著作賞特別賞に選定しました。

■ 特別部門

「中国鉄道時刻表」の出版に対して（中国鉄道時刻研究会）

列車の目的地別を基本として編集されている中国の列車時刻表を、路線別を基本とした日本の様式に準じて並べ替えた時刻表で、膨大な生データを編集し直すにあたって、同好の士を募り、一定のルールを決めた上で独自の編集思想によってより判りやすい時刻表を実現したユニークな出版物です。また、時刻表だけではなく、日本とは慣習の異なる中国の鉄道の利用法を解説した実用ページや、駅弁や車内販売などの体験レポートを交えながら、中国の鉄道を紹介しています。逆転の発想で実現した出版物として、そのアイデアを高く評価し、島秀雄記念優秀著作賞特別賞にふさわしい出版物として選定しました。

島 秀雄記念優秀著作賞とは

島 秀雄記念優秀著作賞は、毎年 1 回、鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道文化の発展に寄与することを目的として、2008 年に新設された賞です(今回が第 8 回目となります)。

賞の名称は、鉄道友の会初代会長で東海道新幹線の実現に功績のあった島 秀雄氏(1901～1998)が、会の発展に尽くされた功績を永久に記念し、後進にとって励みとなる賞にするため、ご遺族の了解をいただいて、そのお名前を冠することとしたものです。

賞の部門は、以下の通りです。

- 1) 単行本部門…… 書籍の中から優秀な作品を選定します
- 2) 定期刊行物部門 定期刊行物に掲載された著作物の中から優秀な作品を選定します。
- 3) 特別部門…… 単行本や定期刊行物以外の著作物で選考委員会が特に認めるもの、または著作物の企画、複製、展示、頒布、その他著作物に関わる功績を選定します。

賞の候補は、前年(今年は 2014 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日まで)に発行された著作物(日付は、単行本、定期刊行物とも当該著作物に記載された年月日を基準)を対象としました。なお、著作者は、鉄道友の会会員に限りません。

賞の選考にあたって、鉄道友の会に島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会を組織しました。賞のうち、単行本部門と定期刊行物部門は、鉄道友の会会員および選考委員会が指定する出版社が候補となる作品の推薦を行い、選考委員会を選定いたしました。また、特別部門の推薦および選定は、選考委員会が行いました。

なお、今回の島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会は、鉄道関係の著作物に精通した鉄道友の会会員 10 名(委員長・曾根 悟)で構成しました。また、今回の候補の推薦は、2016 年 1 月より推薦受付を開始し、2016 年 3 月 18 日に締切り、単行本部門 20 作品、定期刊行物部門 15 作品が推薦されました。

添付資料一覧 (併せてご覧ください)

- ・鉄道友の会のご紹介
- ・過去の選定作品・対象一覧

本件につきましてのお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 7-16 第五 DMJ ビル 3 階 鉄 道 友 の 会 (本部事務局) 担当：大庭、小野田 Tel. & Fax. 03-5215-0305 URL http://www.jrc.gr.jp/

<添付資料>

第1回（2008年）選定

■ 単行本部門

- ・ 齋藤 晃「蒸気機関車 200 年史」NTT 出版
- ・ 関田 克孝「のりもの絵本—木村貞男の世界—」フレーベル館

■ 定期刊行物部門

- ・ 江原 光昭「京成電軌の四輪単車を再考する」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年3月増刊号掲載）
- ・ 小西 純一「余部橋梁」
（交友社『鉄道ファン』2007年7月号／8月号掲載）
- ・ 名鉄資料館「知られざる名鉄電車史」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年7月号／8月号掲載）

■ 特別部門

- ・ 鉄道史資料保存会（会報「鉄道史料」の継続出版に対して）

第2回（2009年）選定

■ 単行本部門

- ・ 長船 友則「山陽鉄道物語」JTB パブリッシング
- ・ 湯口 徹「日本の蒸気動車」ネコ・パブリッシング
- ・ 河田 耕一「鉄道風景 30 題」機芸出版社

■ 定期刊行物部門

- ・ 澤内 一晃「東京市の静脈物流と私有貨車」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2008年1月増刊号掲載）

■ 特別部門

- ・ 田部井 康修「上州を走ったトラム 伊香保電車」東武博物館

第3回（2010年）選定

■ 単行本部門

- ・ 和久田 康雄「日本の市内電車」（成山堂書店）
- ・ 関 崇博「門鉄デフ物語」（ネコ・パブリッシング）
- ・ 奈良崎 博保「九州を走った汽車・電車」（JTB パブリッシング）
- ・ 宇都宮 照信「食堂車乗務員物語」（交通新聞社）

■ 定期刊行物部門

- ・ 大熊 孝夫「雪国を駆けぬける「スノーラビット」」
（交友社『鉄道ファン』2009年5月号掲載）

■特別部門

- ・「日本鉄道旅行地図帳の刊行」に対して（新潮社）

第4回（2011年）選定

■単行本部門

- ・小林 正義「国鉄EF13形」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・安保 彰夫「出石鉄道」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・大田 治彦「西鉄電車おもいでアルバム」樞歌書房（2010）

■定期刊行物部門

- ・初澤 毅「緩衝式車止めの形態と分類」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年7月号～9月号掲載）
- ・堀岡健司「鉄道の掲示と行先標の変遷」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年10月号掲載）

■特別部門

- ・「京阪電鉄百周年に関する著作物」の企画に対して（京阪電気鉄道）

第5回（2012年）選定

■単行本部門（2作品）

- ・白土 貞夫「銚子電気鉄道」ネコ・パブリッシング（2011）
- ・三橋 克己、葛 英一、藤本 邦彦「オハ71形の一族」車両史編さん会（2011）

■定期刊行物部門（1作品）

- ・渡利 正彦「岐阜地区の進駐軍輸送の実態を探る」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2011年5月号／6月号掲載）

■特別部門（2作品）

- ・「機関車表DVD版の制作」（沖田 祐作）に対して
- ・「貨車に関する一連の著作」（吉岡 心平）に対して

第6回（2013年）選定

■単行本部門（4件） ※発行日順

- ・辻村 功「鉄道メカニズム探究」JTBパブリッシング（2012）
- ・鉄道友の会客車気動車研究会「日本の食堂車」ネコ・パブリッシング（2012）
- ・小関 和弘「鉄道の文学誌」日本経済評論社（2012）
- ・鉄道の「知」を探る編集委員会「鉄道の「知」を探る」山川出版社（2012）

■定期刊行物部門（1件）

- ・澤内 一晃、星 良助「北海道の私鉄車両」（鉄道友の会『RAILFAN』2007年8月号～2012年6月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「機関車史研究会の一連の著作」（近藤 一郎）に対して

第7回（2014年）選定

■単行本部門（2件） ※発行日順

- ・浦田 慎（監修・貨物鉄道博物館）「貨車車票の歴史」（2013）
- ・服部 重敬「名古屋市電」ネコ・パブリッシング（2013）

■定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・斎藤 幹雄「ミャンマーへ行った日本型気動車 2013」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年5月号掲載）
- ・北村 拓「西武鉄道の旧型国電研究」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年12月増刊号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「車両側面のイラストによる一連の著作」（片野 正巳）に対して

第8回（2015年）選定

■単行本部門（2件） ※発行日順

- ・和田 洋「「阿房列車」の時代と鉄道」交通新聞社（2014）
- ・西 裕之「特撰 森林鉄道情景」講談社（2014）

■定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・富井 規雄「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年6月号掲載）
- ・岩成 政和「戦後ディーゼル機関車発達史の論点、争点、疑問点」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年7月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・生方 良雄 小田急電鉄に関する一連の著作